

週間情報

No. 0828

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ WEBマガジンを活用した広報活動を開始

[佐賀県消防長会（佐賀）](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽訓 練

- ◆ オホーツク管内の消防本部による緊急消防援助隊後方支援活動訓練を実施
[北見地区消防組合消防本部（北海道）](#)
- ◆ 自然災害支援アドバイザーの助言を受け自然災害対応訓練を実施
[岡山市消防局（岡山）](#)
- ◆ 警察機関と合同で水難救助訓練を実施
[西置賜行政組合消防本部（山形）](#)
- ◆ 「鉄道事故（踏切障害・列車脱線）対応訓練」を実施
[羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）](#)
- ◆ 「4署合同水難救助訓練」を実施

[熊谷市消防本部（埼玉）](#)

▽研 修

- ◆ 「消防同意審査技術研修（全4回）」を開催

[埼玉西部消防局（埼玉）](#)

▽その他

- ◆ 消防功労者に消防総監感謝状を贈呈
[東京消防庁（東京）](#)
- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈
[綾部市消防本部（京都）](#)
- ◆ 学校を対象とした緊急の立入検査を開始
[ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城）](#)
- ◆ 「4機関水難事故等連絡会」を実施
[姫路市消防局（兵庫）](#)
- ◆ 「令和8年第2回つくば市消防職員女性活躍推進検討委員会」を開催
[つくば市消防本部（茨城）](#)
- ◆ 海南市消防団（女性部）と合同でおもちゃ花火教室を実施

[海南市消防本部（和歌山）](#)

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ 建物建築費指数について（通知）

[（消防情第217号、令和8年7月9日）](#)

[目次に戻る](#)

- ◆ 非常電源（自家発電設備）の点検における負荷運転の状況等に係る調査の実施について

（消防予第327号、令和8年7月13日）

▽報道発表

- ◆ 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施
（令和8年7月10日、内閣官房、消防庁）
- ◆ 地方公共団体における防災行政無線等の整備推進
（令和8年7月10日、消防庁）

▽情報提供

- ◆ 第30回JFFW交流会の開催について
JFFW交流会事務局
- ◆ 令和8年度予防技術検定の実施について
一般財団法人消防試験研究センター

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

両会の動き

◆ WEBマガジンを活用した広報活動を開始

佐賀県消防長会（佐賀）

佐賀県消防長会では、令和8年7月1日（水）、WEBマガジンを活用した広報活動を開始しました。

これは、WEBマガジン内に当会の公式アカウントを開設し、当会の事業や県内各消防本部の取り組みを発信するとともに、各消防本部が運用しているSNSと相互にリンクすることで情報の拡散・共有の相乗効果を図り、採用試験の受験者数を増やすことなどを目的として開始したものです。

初回記事では、女性職員にフォーカスし、消防の仕事を選んだ理由や現場で感じたこと、仕事のやりがいについて率直に語り合ってもらった座談会の内容を掲載しています。

プロのライターの視点を交え、一般の方にも親しみやすく、現場のリアルな声が伝わる内容となっていますので、ぜひご一読ください。

【URL】https://editors-saga.jp/editors/sagakoiki/20260630_3113.html



【WEBマガジン掲載画面】



【座談会の様子】

消防本部の動き

▽訓 練

◆ オホーツク管内の消防本部による緊急消防援助隊後方支援活動訓練を実施

北見地区消防組合消防本部（北海道）

北見地区消防組合消防本部では、令和8年6月30日（火）、オホーツク管内の消防本部（近隣の6消防本部合同）による緊急消防援助隊後方支援活動訓練を実施しました。

この訓練は、同支援活動に係る連携体制の強化を図ることを目的として実施したものです。

本訓練では、一次集結した後、被災地消防本部からの情報を基に、6消防本部が車列を組みながら約30キロメートル離れた活動拠点へ移動し、後方支援活動拠点の配置検討、宿営地の設営（エアータント2張、簡易ベッド50セット）、炊事・食事エリアの設営（レスキューキッチン）、デコンタミネーションエリア（除染区域）の設定など、総合的な訓練を実施しました。

各消防本部が同じ目的を共有して活動することで、顔の見える関係の構築が図られ、今後の大規模災害対応に向けた体制強化につながる充実した訓練となりました。

今後も各消防本部が連携・協力して活動できるよう、知識・技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 自然災害支援アドバイザーの助言を受け自然災害対応訓練を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和8年7月2日（木）、岡山市消防教育訓練センター総合訓練施設において、自然災害対応訓練を実施しました。

これは、令和8年4月に新設した「岡山市消防局自然災害支援アドバイザー制度」に基づき、自然災害発生時の対応能力の向上を図ることを目的として初めて実施したものです。

当日は、アドバイザーに選任された地盤工学の専門家である岡山大学の西村伸一教授から助言をいただきながら、安全かつ迅速な救助手順の検証を行いました。

今後もアドバイザーとの連携を強化し、災害対応力の向上を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察機関と合同で水難救助訓練を実施

西置賜行政組合消防本部（山形）

西置賜行政組合消防本部では、令和8年7月3日（金）、長井警察署および小国警察署と合同で水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、令和7年6月に締結された「警察消防相互協力等協定」を踏まえ、両機関の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、溺者救助、現場指揮本部運用、ボート操作、スローロープ投てきなどの各訓練を実施し、両機関の活動要領や初動対応について相互理解を深めました。

今後も、関係機関と連携した訓練を継続し、災害対応能力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「鉄道事故（踏切障害・列車脱線）対応訓練」を実施

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和8年7月7日（火）、ＪＲ羽咋駅構内において、西日本旅客鉄道株式会社七尾鉄道部および羽咋警察署と合同で、「鉄道事故（踏切障害・列車脱線）対応訓練」を実施しました。

これは、鉄道事故発生時における初動対応力の向上および関係機関との連携体制の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「踏切内に進入したトラックと列車（十数人の乗客・車椅子使用者あり）の衝突により、列車が脱線し、複数の負傷者を確認」、「トラック乗員１人が車両の高度な変形により閉じ込められ、脱線に伴う列車の停電が発生」との想定で、現場指揮所や救護所の設置・運用、トリアージ、応急処置、搬送順位の決定など、一連の活動を関係機関が連携して迅速かつ的確に実施しました。

今後も、関係機関との連携を一層強化するとともに、公共交通機関における突発事案への対応力の向上を図り、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「4 署合同水難救助訓練」を実施

熊谷市消防本部（埼玉）

熊谷市消防本部では、令和8年7月8日（水）、埼玉県と群馬県の県境を流れる一級河川「利根川」において、消防相互応援協定に基づき、行田市消防本部（北分署）、太田市消防本部（大泉消防署）および館林地区消防組合消防本部（千代田消防署）と合同で、「4 署合同水難救助訓練」を実施しました。

この訓練は、夏季を迎えるにあたり、利根川における水難事故に備え、4 署が連携した救助活動体制を確認するとともに、円滑な救助体制の充実・強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「プレジャーボートおよび水上バイクが衝突し、複数人が河川に投げ出された」との想定で、情報伝達・共有をテーマに、タブレットなどのさまざまな機器を活用して訓練を実施しました。

今後も、県境を越えた4 署の連携を強化し、水難事故などに迅速に対応できるよう努めてまいります。



【訓練の様子】

▽ 研 修

◆ 「消防同意審査技術研修（全4回）」を開催

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局では、令和8年6月1日（月）から6月26日（金）までの期間中、「消防同意審査技術研修（全4回）」を開催しました。

これは、消防同意事務を円滑に進めるため、審査に必要な知識や技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

期間中は、消防同意事務に携わる職員など18人が参加し、建築基準法などに定める建築物の防火規定について、経験豊富な職員が過去の事例を交えながら解説しました。

本研修は、当消防局で初めて開催したもので、建築物の防火規定に関する理解を深めるとともに、参加者が自己の知識を再確認する機会となりました。

今後も継続して審査技術の向上を図り、安全な建築物が建築されるよう努めてまいります。



【研修の様子】

▽その他

◆ 消防功労者に消防総監感謝状を贈呈

東京消防庁（東京）

東京消防庁中野消防署では、令和8年6月24日（水）、消防功労者6人に対し、消防総監感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年4月28日（火）、路上において心肺停止となった男性に対し、通行人である消防功労者6人が連携して救命活動を行ったものです。

6人は心肺停止を確認後、速やかに119番通報を行い、胸骨圧迫を開始するとともに、付近の店舗に設置されていたAEDを使用して除細動を実施し、その後も交代しながら胸骨圧迫を継続して、到着した救急隊へ引き継ぎました。

男性は救急車内で意識を取り戻し、その後の手術を経て、現在は自力で歩行できるまでに回復しました。

贈呈式では、表彰された6人が当時の状況を振り返り、それぞれが連携して救命活動に取り組んだ様子を語りました。

中野消防署長は、119番通報、胸骨圧迫、除細動などの迅速な対応により「救命の連鎖」が続き、人命救助に貢献したことに対し、感謝の意を表しました。



【贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

綾部市消防本部（京都）

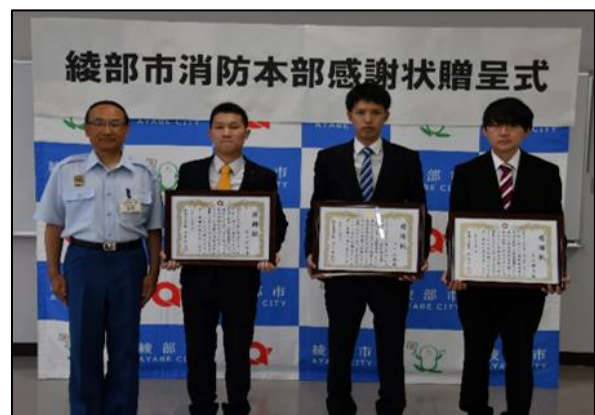
綾部市消防本部では、令和8年7月1日（水）、消防協力者3人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年2月27日（金）、市内の工場において心肺停止となった傷病者に対し、消防協力者3人が連携し、迅速な119番通報、胸骨圧迫およびAEDを用いた救命処置を実施した後、救急隊へ引き継いだものです。

消防協力者3人の迅速な判断と勇気ある行動により、傷病者は社会復帰を果たすことができ、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈の様子】



【贈呈後の記念撮影】

◆ 学校を対象とした緊急の立入検査を開始

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城）

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部では、令和8年6月30日（火）から、管内の小学校、中学校および特別支援学校を対象とした緊急の立入検査を順次開始しました。

これは、東京都北区で発生した小学校における火災を受け、学校における防火管理の徹底を図ることを目的として実施したものです。

立入検査では、避難施設および避難器具の管理状況を確認するとともに、煙感知器を作動させ、防火戸の閉鎖状況を確認しました。

また、日本放送協会（NHK）による立入検査の取材に協力し、学校における防火管理の重要性を県民に広く発信する機会となりました。



【検査の様子】



【取材対応の様子】

◆ 「4 機関水難事故等連絡会」を実施

姫路市消防局（兵庫）

姫路市消防局では、令和8年7月1日（水）、姫路市防災センターにおいて、姫路海上保安部、兵庫県警察、姫路港管理事務所と合同で「4 機関水難事故等連絡会」を実施しました。

この連絡会は、水難事故などにおける要救助者の生存救出および社会復帰を共通目標とした連携体制の確立および強化を図ることを目的として、平成20年から継続して実施しているものです。

当日は、管内における水難事故（水難救助・船舶火災など）の現況報告のほか、事故発生時における各機関の活動体制や申し合わせ事項の確認、変更点の共有を行いました。

また、各機関で人事異動に伴う担当者の変更があったことから、対面で実施したことで、顔の見える関係を構築することができました。

今後は、今回の会議結果を踏まえ、実地訓練を実施する予定です。

引き続き関係機関との連携を深め、水難事故などに迅速かつ的確に対応できる体制づくりに努めてまいります。



【連絡会の様子】



【水難事故などの現況報告】

◆ 「令和8年第2回つくば市消防職員女性活躍推進検討委員会」を開催

つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和8年7月2日（木）、「令和8年第2回つくば市消防職員女性活躍推進検討委員会」を開催しました。

この委員会は、女性職員が能力を最大限に発揮し、意欲を持って働き続けられる職場環境の整備を目的として開催したものです。

当日は、松本副市長をお招きし、当消防本部の委員と多様な視点から意見交換を行い、仕事と家庭の調和を図る「子育てとキャリアの両立」や、組織の活性化に不可欠な「管理職への登用」など、多岐にわたるテーマについて協議しました。

今後も、本委員会で得られた知見や貴重な意見を施策に生かし、女性職員の活躍推進を通じて、すべての職員が共に活躍できる活力ある組織づくりと、さらなる消防体制の強化に努めてまいります。



【委員会の様子】

◆ 海南市消防団（女性部）と合同でおもちゃ花火教室を実施

海南市消防本部（和歌山）

海南市消防本部では、令和8年6月26日（金）、7月2日（木）、6日（月）および9日（木）の4日間、海南市内の保育所・こども園4施設において、園児（5・6歳児）128人を対象に、海南市消防団（女性部）と合同でおもちゃ花火教室を実施しました。

これは、おもちゃ花火の正しい遊び方や、約束事を守らなかった場合に、けがや火災につながる危険性について学んでもらうことを目的として実施したものです。

当日は、女性団員がクイズ形式で花火の危険性や遊ぶ際に必ず用意するものなどを説明した後、園児がおもちゃ花火を安全に体験しました。

園児からは、「花火で遊んでいるから離れて」、「終わった花火は水バケツに捨てました」といった声が聞かれ、学んだ約束をしっかりと守る様子が見られました。

今後も防火・防災教育の一環として、海南市消防団（女性部）と連携し、活動を継続してまいります。



【おもちゃ花火教室の様子】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 建物建築費指数について（通知）

（消防情第217号、令和8年7月9日）

消防庁防災情報室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記の件につきまして、火災報告取扱要領（平成6年4月21日付け消防災第100号）別表第4の「1表 建物建築費指数表」中、「その1 木造建物」及び「その2 鉄骨鉄筋・鉄筋コンクリート造建物」に係る令和8年3月期の指数を以下のとおり定めましたので通知します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/boujou217.pdf>) に掲載されています。

〈連絡先〉

消防庁防災情報室 担当：安達、前

TEL：03-5253-7526

FAX：03-5253-7536

◆ 非常電源（自家発電設備）の点検における負荷運転の状況等に係る調査の実施について

（消防予第327号、令和8年7月13日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防用設備等の非常電源として設けられる自家発電設備については、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（平成30年消防庁告示第12号）により点検方法を見直し、負荷運転の実施周期の延長等を行ってから一定年数経過したところです。今般、当該見直し後の負荷運転の状況等を把握し、その適切な運用を図るため、下記のとおり調査を実施することとしましたので御協力をお願いします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260713_yobou327.pdf) に掲載されています。

▽報道発表

◆ 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施

(令和8年7月10日、内閣官房、消防庁)

長野県及び同県佐久市が、国と共同で、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施することが、以下のとおり決定しました。

また、今年度は、本訓練を含め、19件の訓練を実施する予定としておりますので、併せてお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260710kokuun.pdf>) に掲載されています。

(問い合わせ先)
内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付
（国家危機管理室）
内閣参事官 渡眞利 諭
参事官補佐 早川 元章、阿部 修也
TEL 03-3581-8485

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室
国民保護運用室長 山下 義弘
課長補佐 関本 徹
係長 木内 宏知
TEL 03-5253-7551

◆ 地方公共団体における防災行政無線等の整備推進

(令和8年7月10日、消防庁)

消防庁では、地方公共団体における防災行政無線等（※）の整備状況に係る調査を実施し、この度、令和8年3月31日現在の状況を取りまとめましたので公表します。

今後も、未整備団体に対し、防災行政無線等の整備を推進して参ります。（※省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260710boujou.pdf>) に掲載されています。

総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課
防災情報室
担当：四維、勝山、津辻
電話：03-5253-7526（直通）
Email：bgm-boujo_atmark_ml.soumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

[目次に戻る](#)

◆ 第30回JFFW交流会の開催について

JFFW交流会事務局



第30回JFFW交流会

つないだ**30年** 輝く未来 ～感謝を力に 思いを明日へ～

- 1 日時
令和8年10月3日（土）受付開始 9時30分から
交流会 10時30分から16時00分まで
懇親会（希望者のみ）16時30分から18時00分まで
- 2 場所
川崎市男女共同参画センター すくらむ21（川崎市高津区溝口2丁目20-1）
- 3 定員
150人
- 4 参加費
5,000円（昼食代を含みます）
- 5 内容
 - (1) 受付・名刺交換会
 - (2) オープニング
 - (3) 講演
「世界で活躍する女性たちに学ぶ—女性消防官の未来とキャリアの可能性」
相模女子大学 地域クリエーション学科教授 小泉京美 氏
 - (4) 分科会
ア 「自分を育てるキャリアプラン」人生100年時代 今からできる準備ってなんだろう
イ 「負けない心と身体を作る」楽しくパフォーマンス向上
ウ 「悩みを共有」いろいろお話ししたいです
エ 「広めたい、聞きたい、現場の声」現場活動の困りごとを解決しよう
 - (5) 全体発表
 - (6) 特別講演
「多様性が強い組織をつくる」～自分らしく働き・自分らしく輝く～
川口市消防局 消防長 鈴木亜弥子 氏
 - (7) 閉会
- 6 懇親会（希望者のみ・参加費別途）
- 7 申込み
令和8年7月25日（土）から9月25日（金）まで
JFFWホームページ（<https://www.club-jffw.com>）にて受付します。



【JFFWホームページの二次元コード】

主催：JFFW
共催：川崎市男女共同参画センター すくらむ21
【連絡先】相模原市南消防署 野口 042-744-0119
川崎市臨港消防署 石井 044-299-0119

◆ 令和8年度予防技術検定の実施について

一般財団法人消防試験研究センター

令和8年度の予防技術検定を、次のとおり実施します。

本検定の受検申請方法は、電子申請のみです。また、受検案内についてもホームページへの掲載のみとなりますので、詳細は当センターのホームページをご確認ください。

- 1 検定実施年月日
令和8年12月6日（日）午後2時00分から午後4時30分
- 2 受検申請期間
令和8年7月8日（水）から8月31日（月）まで
- 3 検定区分
防火査察・消防用設備等・危険物
- 4 受検申請方法
当センターホームページから電子申請 (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)
- 5 受検案内
当センターホームページに掲載
- 6 合格発表日
令和9年1月8日（金）（予定）
- 7 その他

団体申請には、消防本部ごとの「団体コード」が必要です。申請の際、代表者の方は次の連絡先までお問合せください。



【予防技術検定ホームページの二次元コード】

【問い合わせ先】

一般財団法人 消防試験研究センター
予防技術検定担当

TEL 03-3597-0220（代表）
（9:00～17:00（土日祝を除く））

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度／写真:JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事: kikakeikaku@fcj.jp 消防ワイド: honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設！

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

